

来週の「売り物」記事はこれ



2011年11月11日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

シリーズインタビュー「時代を駆ける」

日本駆け込み寺代表・玄秀盛さん

15日（火）から2週・9回

理屈ではなかなか説明できない悩みがある。一刻も早くこの窮地から救われたい。役所や警察はちょっと敷居が高くて……。そんな時、無償で相談に乗り、解決の糸口を探る「日本駆け込み寺」は、不夜の「ネオン街」新宿・歌舞伎町を拠点に活動を続ける一般社団法人です。

業者のあこぎな搾取。どろどろの家庭内暴力。泥沼の多重債務。息子を暴力団から足抜けさせたい親。服役を終え社会復帰したいのに偏見の壁にぶつかった人。口には出しにくい、こんな無数の問題に、代表の玄秀盛（げん・ひでもり）さん（55）＝写真＝のほか、ボランティアを含む50人ほどのスタッフが向き合います。

専門課程でカウンセラー教育を受けたわけではない玄さんが学んだのは、自らの流転と辛苦の半生から。「裏社会」も知るその体験と独自の知恵、深い人間観察の目を語ってもらいます。ご期待ください。



こうのとりに追って・インタビュー

くらしナビA面 15日（火）から随時掲載

読者から反響が大きい「こうのとりに追って」のインタビューシリーズを始めます。妊娠・出産を前向きに目指す著名人に話を聞きます。1回目はプロゴルファーの東尾理子さん＝写真。不妊治療の体験や思い、治療経験者が集まる会の活動などについて語ってもらいました。



なぜ100ミリシーベルト？ くらしナビA面 16日（水）

食品中の放射性物質の暫定規制値の見直しについて、内閣府の食品安全委員会は健康に影響を及ぼす被ばく線量について、食品からの被ばくで「生涯累積でおおよそ100ミリシーベルト」と答申しました。その根拠は何なのでしょう。Q&Aで詳しくお伝えします。

飯沼町東原中野 （32%北西）	37.71
飯沼町赤平木字七郎 （31%北西）	80.21
飯沼町長尾 （33%北西）	47.79
いわき市三和町東端 （39%南西）	0.89
葛尾村土野川（31%北西）	13.11
福島市杉妻町（42%北西）	3.143

※単位は%。1%は1000分の1。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は3月25日（福島市は同日、いわき市は同日、葛尾村は4月8日）からの値。



自分が病気になったり、死んだりしたら、ペットはどうなるだろう、などと不安になり、ペットを飼いたくても飼えない高齢者がたくさんいます。しかしペットは高齢者と社会をつなぐ大切な存在。ペットを飼っている高齢者を支援する取り組みなどを紹介します。

ホンのひととき

教育面 20日(日)から隔週掲載

女優で脚本家の中江有里さん(37) =写真=による新コラムが始まります。年300冊以上の本を読む読書家の中江さんが、本が子どもに与える影響や読書で広がる世界についてつづります。本がくれたドキドキや喜びを、ほんのひととき、共にお楽しみください。



鷹と竜が激突！ プロ野球日本一の座は — 12日から福岡で



プロ野球の今季ナンバーワンを争う日本シリーズは12日から、福岡ソフトバンク・ホークスが、本拠地の福岡に中日ドラゴンズを迎えて開幕します。今回は、パ・セ両リーグともレギュラーシーズン優勝チーム同士の顔合わせとなりました。強力打線を誇るソフトバンクに、勝負強さを発揮する中日が挑む構図です。今季限りの退団が決まっている中日・落合監督のさい配も見どころです。戦いの模様は、スポーツ面でさまざまな角度からビビッドに報道します。

鷹と竜が激突！ プロ野球日本一の座は — 12日から福岡で

「月刊ロンドン五輪」

狩猟からスポーツへ — クレー射撃の原点を訪ねて

英国を取材し、近代スポーツの源泉を探る特集ページ「月刊ロンドン五輪」。今回は、クレー射撃にまつわる話を15日に掲載します。軍隊や警察の訓練として発達したライフル射撃と違い、動く標的を撃つクレー射撃は狩猟がルーツです。英国では現在も、より本物の狩猟に近い標的の飛ばし方をする「ピジョン・シューティング(鳩撃ち)」という種目が人気です。この種目の世界チャンピオンを紹介しながら、英国伝統の狩猟が、スポーツに発展していく過程を追いました。



メガ合コンを見に行く

夕刊特集ワイド面 14日



まち全体を合コン会場に見立てて、1000人、2000人の若い男女が出会いを求めて飲食店をはしごするイベント「メガ合コン」が、全国各地で盛んに開かれています。婚活の切り札？ それとも新手のまちおこし？ そして、運命的な出会いはあるのでしょうか。アラフォー記者が、メガ合コンに参加して、見えたものとは――。

「新語・流行語」で振り返る 2011 年

夕刊特集ワイド面 17 日



1 年間の世相を読み取る、「新語・流行語大賞」のシーズンが迫ってきました。このほど大賞の候補として 60 語が選ばれましたが、東日本大震災と福島第 1 原発事故に関連して「3・11」「災後」「安全神話」「メルトダウン」といった言葉が大半。このほか、「どじょう内閣」「なでしこジャパン」なども……。でも、最有力候補は、可愛らしいと大人気の芦田愛菜ちゃんの「マルマル、モリモリ」だとか……。『3・11』、『災後』というのに、悲しみをもう忘れたかのよう……。ひょっとして社会全体が『メルトダウン』——なんていう声も聞こえてきそう!? 辛口で世相を斬る漫画家の黒鉄ヒロシさん、被災地フクシマから現在進行形の苦しみ、悲しみを言葉に紡ぐ詩人、和合亮一さんと一緒に考えました。

“知りたいが分かる、がモットーの夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。